



自然を眺め船旅を楽しみました

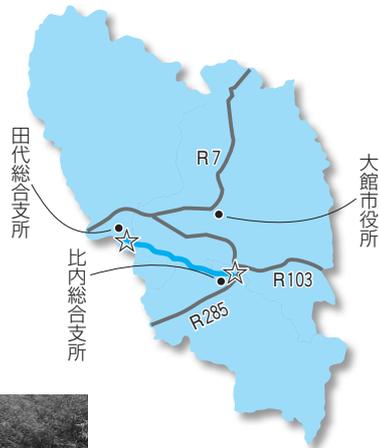


歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド⁴⁹

市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
「米代川流域川下り」
H21. 8. 8取材



今年梅雨明けが無い！ 暑い夏が来ないまま秋になっちゃいそう。今回は、今年で10回目を迎える真夏の恒例行事「米代川流域川下り」。比内扇田地区から田代外川原地区までカヌーやゴムボートに乗って米代川を下り、川面から眺める景色は最高だとか。これはもう体験してみるしかない！ ということで、ワクワクドキドキの初の「水上突撃取材」に挑戦！

出 発地点では、参加の皆さんがライフジャケットを身に付け準備完了。次々とカヌーやゴムボートに乗り込み、笑顔で出発します。では私もと、実行委員会のサポート用ゴムボートに乗り込んだのであります。ゆっくりとオールをこぎ出すと、ソーイ眺め。と突然流れが速くなってボートが回転、アラフ… 今度は正面に橋脚が。あく引き寄せられる「ドン！」。放り出されそうになり全身硬直で汗がタラ〜り。でも、川の上から見渡す景色は最高ッス！

実

行委員会のゴムボートには、もう一人の同乗者**菅原邦朋さん**（獅子ヶ森1区）。早速の水上演習に「毎年仲間と一緒になんですが、今年はみんな仕事で。一人でも参加しようって思ったんだ」とのこと。川下りの魅力にはまったそうで「川の上から見る景色はいいし、のんびりして

気

持ちも休まるし、やっぱりいすな〜とご満悦。来年は仲間でも参加出来るといいですね。

中

間地点で休憩し昼食を取っていたのは、チーム『くるくるパワーウーマンズ』の**山城屋純子さん**（出口2）、**佳奈子さん**、**月さん**ご一家と、友人の**五十嵐弘子さん**（出口2）。皆さん初めての参加だそうで「スタートは良かったんだけど、そのうちくるくる回り出して、本当に『くるくるパワー』になっちゃった（笑）」と弘子さん。純子さんは「夏休みの思い出に、嫁と孫とで挑戦してみようって。スリルがあつて楽しかったけど、あと半分どうなるんだか」とちよつと不安げな様子。とても楽しいという月さんは「流れが早いところは、すっごくおもしろかった」。

「途中で左右が分からなくなつちやって『違つ違つ』って言われたら余計分かんなくなつちやつたと加奈子さん。誰が違つ違つって？」「お義母さん（笑）。嫁姑のバトルが、と思いきや、和気あいあいの楽しい皆さんでした。



左から弘子さん、純子さん、佳奈子さん、月さん



笑顔で追い越していった吉田副市長